

はじめに

国立教育政策研究所社会教育実践研究センターでは、平成14年度から「生涯学習センター等の連携方策」を課題として取り上げ、調査研究を実施してまいりました。

平成14年度は、「生涯学習センター等を中心とする様々な機関との連携について－体験活動ボランティア活動支援センターの現状と課題－」「生涯学習センター等相互の連携協力について」の2つのテーマを設定し、生涯学習センター等と様々な機関との連携、また、生涯学習センター相互の連携の状況の実態を調査いたしました。

そこで今年度は、「都道府県の生涯学習センターと市町村との連携」「市町村の体験活動・ボランティア活動支援センターの運営における都道府県の体験活動ボランティア活動支援センターとの連携」に的を絞り、現在の連携の状況の把握と、市町村が求める連携の在り方について明らかにすることといたしました。調査研究には、生涯学習センターや市町村教育委員会の職員の方々を委員としてお願いするとともに、調査対象も広く意見を求めるために、都道府県立の生涯学習センター等を有する都道府県内の全市区町村を対象に調査を実施いたしました。

昨今の様々な社会状況の変化により、各都道府県立の生涯学習センターや市町村における事業の在り方が問われております。都道府県立の生涯学習センターの今後の在り方を考える際に、本調査報告書が関係者の参考となれば幸いです。

終わりに、本調査研究の実施に当たり、昨年度に引き続き委員長として熱心に御指導いただきました札幌国際大学教授小山忠弘氏を始め、研究委員各位に感謝申し上げますとともに、調査に御協力いただきました、都道府県、政令指定都市、市区町村教育委員会の方々に厚くお礼申し上げます。

平成16年3月

国立教育政策研究所社会教育実践研究センター長

椎 廣行